



2012 ~ 2013 年度
R I テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

国際ロータリー会長 田中作次 (国籍・日本)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0820 別府市北浜1-14-15
TEL (0977) 22-1110 FAX 21-1019
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	高宮 勝美	理事	大島由美子	役員	会長	高宮 勝美	S A A	亀井 孝
〃	森園 伸也	〃	村津 忠久	副会長	副会長	森園 伸也	直前会長	亀井 孝
〃	木村きぬゑ	〃	近藤 賢司	幹事	幹事	前田 哲矢		
〃	森 宗明			会計	会計	大江 知巳		

VOL. 25 - 8
2012年8月28日

第 1109 回 例会

会報委員長 河村 貴雄

- ◆点 鐘 12:30
- ◆R S 別府中央R.C.の歌
- ◆唱 歌 我は海の子
- ◆ゲスト 長野勝行氏 (社別府青年会議所 理事長)
小城崇宜氏 (社別府青年会議所 専務理事)



左から小城氏、長野氏、高宮会長

◆出席報告 出席委員長 平野 英壽

本日 の 出 席	会 員 総 数	24 名
	出 席 者	18 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	1 名
前々 回 の 訂 正	欠 席 数	4 名
	出 席 率	78.26 %
	出 席 率	73.91 %
	事後メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	1 名
8/7	出 席 免 除	1 名
	修 正 出 席 率	82.61 %

連 続	一 回
通 算	743 回 100 %

会長の時間

会長 高宮 勝美

皆さん、今日は、会長の高宮勝美です。

お盆が過ぎて暦の上では、もう秋なのに連日暑い日が続いています。しかし、今日は台風の影
響が少し暑さが和らいでいますが、例年9月も残暑が厳しい様ですから体調管理には十分注意してください。

さて、本日はゲスト卓話として別府青年会議所の第37代理事長の長野勝行さんをお迎えし、卓話を頂く事と致しました。長野勝行理事長の略歴について私からご紹介させていただきます。

長野理事長は我々と同じロータリアンで別府東RCに所属しています。お父さんの長野善行氏もロータリアンとして別府東RCに在籍し、大変

・メイクアップ

事前
事後 平野(英)、河村 (別府東)
欠席 佐々木、岐部、中尾、梶原
理事会承認 梶田
出席免除 溝部

活躍されていましたが、子息の勝行氏に後を託され退会されました。お母さんは私と同じ津久見市の出身で、とても明るく優しい方です。私は同郷と言う事で、ご両親、ご兄弟の方々と久しくさせて頂いています。

本人は昭和48年5月1日の生まれで今年39歳です。自宅は市内の小倉地区で学校を卒業後、家業



である長幸建設に入社され、平成19年より代表取締役社長に就任されて現在に至っています。平成13年に（社団法人）別府青年会議所に入会され、平成19年副理事長、専務理事等を歴任して、平成24年1月に、第37代理事長に就任され、現在に至っています。

中でも特記したい事項は、平成23年の（第27回全国J Cサッカー選手権大会）の実行委員長として活躍され、同じ年の6月には東北で発生した大震災の被災地に別府の温泉を届けて多くの人々に安らぎを与えた事でした、奇しくも、この日は私の会社の30周年記念事業の日にあたり、ロータリー会員の皆様と顔を合わせられず欠席されましたが、若い人達の活躍に期待しています。我がクラブにも若いロータリーアンがいますが、これからの別府を背負っていく若い力を感じて下さい。

尚、本日は長野理事長に同行して別府青年会議所の小城崇宜専務理事も来席されています。長野理事長の卓話を楽しみに会長の時間を終わります。

河苑に時間変更

別府東RC 9月13日(木)の例会は、第10回国際交流ゆかたの夕べの為 9月14日(金)17:00~別府大学多目的室に日時・場所変更

別府RC 9月14日(金)の例会は、創立60周年記念式典の為 9月15日(土)14:30~杉乃井ホテルに日時・場所変更

4. 次週の予定

「会員卓話」平野教康会員、村津忠久会員

「会員コラム」森園伸也会員

*原稿をお願い致します。

5. 本日の回覧

①「別府ロータリークラブ創立60周年記念式典」
出・欠席

②「月見例会」出・欠席

③くにさきRC 週報

④就労支援センター藍より仏事袋・祝儀袋
希望購入

⑤「別府近隣6RC親睦ソフトボール大会」
出・欠席

6. 本日の配布

①週報No.1108

幹事報告

前田 哲矢

—会員増強および拡大月間—

1. 本日の卓話

「青年会議所活動を通して」

(社)別府青年会議所 第37代 理事長 長野 勝行 氏

2. 本日のゲスト

長野 勝行 氏 (社団法人別府青年会議所 第37代 理事長)

3. 例会変更のお知らせ

大分1985RC 9月10日(月)の例会は、職場例会の為 同日12:30~場所変更

大分臨海RC 9月10日(月)の例会は、大分RC・大分臨海RC合同職場訪問例会の為 9月14日(金)18:20~大分銀行ドームに時間・場所変更

大分RC 9月11日(火)の例会は、新会員歓迎例会の為 同日18:30~大分オアシスタワーホテルに時間・場所変更

別府北RC 9月12日(水)の例会は、観月例会の為 同日18:00~喫茶サークルに時間・場所変更

大分東RC 9月13日(木)の例会は、夜の親睦例会の為 同日18:30~丸副に時間・場所変更

杵築RC 9月13日(木)の例会は、観月例会の為 同日18:30~パストラル三

スマイルボックス

委員長 大江 知巳

○高宮会長

長野勝行別府青年会議所理事長、小城崇宜別府青年会議所専務理事、本日の御来場ありがとうございます。ごゆっくり。

○堀会員

二週連続出席! がんばった堀由美。自分自身にスマイル!

○河村会員

例会を休みがちな私ですが、本日は長野理事長と小城専務理事のご出席なので、何とでも来ようと思っておりました。感謝してスマイル。

○森会員

少し動くと汗だくになります。若い頃の汗とは違うような気がします。“さわやかな汗”はもうないか。冷や汗、あぶら汗は日常茶飯事です。がね!

○近藤会員

我が家の庭に3年前に植えたかぼすが直径2cm位の実を作りました。食べるにはチョット小さすぎたので、仏様にお供えをしました。ど



んな小さな実にも命があり、それを感謝しながらいただくことがすばらしいことだと最近気付きました。私も一步一步あの世に近づいてきたのだなと思い、なむあみだぶ〜。

○後藤会員

本日は「かぜ」をひいていますので、誰も私に話しかけないで下さい。

○村津会員

先週の土曜日、日曜日、2日間。第九合唱団の合宿練習を致しました。土曜日は142名、日曜日は154名が参加して密度の高い練習が出来ました。

12月16日・日曜日、グランシアタで公演される「第36回大分第九の夕べ」本番の成功を祈りましてスマイル。

○衛藤会員

猛暑豪雨記録づくめの夏逝きぬ

立秋も過ぎ、残暑の毎日ですが、今年の夏も色々ありました。2、3日前、孫と言う名の豆台風が去ってやっと夏が終わりました。

今日は長野様ようこそ、どうぞごゆっくりなさって下さい。

○平野(英)会員

みなさん、お久しぶりです。1ヶ月ぶりです。みなさんに会いたくて夜も眠れませんでした。出席委員長たる者、大失態です。おゆるしを。

○大島会員

先週の21日より一週間、日・モ外交関係樹立40周年記念事業で、宇佐市と九重町とモンゴル日本関係促進協会の皆とモンゴルへ行って来ました。会議、フォーラム、招宴と忙しい日々でしたが、とても勉強になり楽しい日々でした。

しをさせていただきます。

簡単に自己紹介と青年会議所の紹介からさせていただきます。生まれは、昭和48年5月1日で、現在39歳です。青年会議所への入会は、2001年1月、27歳の時ですから今年で12年目になります。青年会議所というのは20歳から40歳までの青年の団体です。活動内容としては、青年会議所の3信条にあります、奉仕、修練、友情を心のスタンスとして活動を行っています。この3信条の意味は、若い人々が集まって自己啓発や修練を行い、培われた力を用いて地域社会に奉仕することであるという意味です。そして、その修練と奉仕を支える力として、会員全員、同志を貫く友情を持って活動しようということです。事業年度は1月から12月なので、私も来年の12月には卒業します。任期も1年ですから、また来年には新しい理事長の下、新体制が出来上がり新たな年度がスタートします。青年会議所は、40歳までという限られた時間と1年という限られた任期の中で活動を行う団体ですから全力疾走できるところが良いところではないかと思えます。

社業のほうは、現在、長幸建設の代表をしております。入社は平成4年です。入社1年目は営業職員としてスタートしました。しかし、普通科卒業の私には、業界用語から仕事の流れなどわからないことだらけでした。真剣に勉強しましたが、中々、頭に入ってきませんでした。そこで思い立ったのが、ゼロから現場で勉強してみようということでした。当時の上司に現場作業への異動を申し出ました。そこからは、1作業員として5年間、スコップを持ちダンプに乗り、重機を運転し様々な仕事を経験してきました。その後、現場監督の勉強をしながら2年間、十数カ所の現場を担当し、現場での一通りの流れを勉強したのち、営業へと異動となりました。仕事での流れは勉強したものの、いざ営業となると行くところがない。現場に出ていた7年間の人脈では、限りがありました。そこから人脈を作るためにあらゆる団体に入会しました。JC、RC、消防団、各種勉強会。様々な先輩に出会い色々な勉強をさせていただきました。営業も7年間従事して、平成19年に代表取締役役に就任いたしました。現在は、経営の勉強をしながら営業も行っております。

青年会議所の話しに戻りますが、入会のきっかけは、ある先輩からの勧めで入会を前提に例会に参加した事でした。2000年の10月、27歳の時でした。その頃は、家業の建設業で現場監督から営業へ異動になる頃だったので、仕事の上でも大きな

卓 話

「青年会議所活動を通して」

社団法人 別府青年会議所
第37代 理事長 長野 勝行



私は現在、社団法人 別府青年会議所第37代理事長を仰せつかっております長野勝行と申します。

今日は、青年会議所へ入会のきっかけから、現在、理事長職に就任するまで、そして自分が今年取り組む事業の方向性について、お話



転機だったと思います。その後2001年の1月から入会し活動を始めるわけですが、入会前のイメージとのギャップに驚きました。ただ、お酒を飲んでいる団体ではなく、真剣に会議をして事業に取り組んでいる先輩達の姿は本当にたくましく、格好良かったのを覚えています。2004年に副委員長として初めて理事になりましたが、この時から、理事会での資料作成などをしながら、パソコンの使い方を覚えました。今では、この経験が仕事でも大いに役に立っていることを実感します。その後、委員長を2度、専務理事を1度、副理事長を4度経験し、今日までに多くの先輩方に鍛えてもらい、そして勉強させて頂き今年、第37代理事長を拝命致しました。

昨年11月には、全国JCサッカー選手権大会を別府で行わせて頂き、その実行委員長を仰せつかりました。北は秋田から南は鹿児島まで、全国から54チーム、1,000人余りのメンバーが参加してくれました。過去27回の大会の中でも2番目に参加の多かった大会となりました。観光地である別府に一人でも多くの方々に来て頂きたくて奔走した日々を思い出します。結果は、サッカーのみならず、懇親会でも別府らしい催しも行うことができ、全国のメンバーからは、また、別府に来たい、忘年会を別府でしたい、来年も別府で大会をしてくれというような言葉も頂きました。この言葉を聞けただけでもこの一年間は本当に満足でした。そして、本年、理事長を拝命させて頂くにあたり、スローガンを「継承と進化」～次代へ紡ぐ熱き魂の伝播～としてスタート致しました。なぜ、このスローガンかと言うと、今の別府青年会議所の現状は、自分自身の判断で物事をぐんぐん進めていく会員が、少なくなってきたように感じています。自分で評価、判断ができない、そのために次の行動に移れない、従って、誰かに方向性を指示してもらいたがる傾向を非常に強く感じます。一般に指示待ち症候群と言います。こんな状況では、まちづくりは行っていけません。真のリーダーの育成こそが、課せられた使命だと感じています。リーダーは、事業や様々な場面において責任と向上心を持って行動しなければなりません。その行動が、会員を牽引し、組織自体を牽引していきます。そんなリーダーが育つことで、そのリーダーを目指す次の世代の人材がさらに努力して熱い魂（こころ）を伝播していつてくれるものと期待します。そのために、本年度は、人材育成に注力して活動していきたいと思っています。

その現状を踏まえて、今年の別府青年会議所

は、これまでの36年の歴史を築かれてこられた先輩方からの教えをしっかりと紐解き、理解して継承してゆくことが大事だと考えました。昔と今では、時代背景、経済環境は当然違います。しかし、時代は変わってもJAYCEEは地域の青年のリーダーであるべきだと思います。先輩達は、このまちの先頭に立って大きな事業や祭りを展開して参りました。今、その行動力を持って運動できているか疑問を感じています。今こそ、先輩達に学び、運動を展開していくべきだと思います。そして、時代に則して進化させて次の世代へ紡いでいかねばなりません。古き良き時の魂（こころ）を継承し、新しいものも取り入れながら進化させて活気ある会議所作りを行っていきたいと思っています。

その中で、事業を行うことは重要な事の一つだと思っています。対内的な意識喚起と対外的な広報を行いながらふるさと別府のために寄与できれば最高だと思います。今年は、たくさんの事業を計画しています。すでに終わりましたが、3月30日から2泊3日で別府のサッカー少年達を別府市の姉妹都市である韓国の木浦市へ連れて行って韓国の子ども達とサッカーの交流試合を行いました。多感な時期の子ども達に外国の雰囲気を感じてもらい、韓国の子ども達とサッカーを通して交流することで、参加した子ども達が大人の階段を上る過程で大きな経験になり国際感覚溢れる青年として成長してくれたことと確信しています。

また、8月17日～19日にかけて佐伯市鶴見町へ別府の子ども達48名を連れてキャンプへ行ってきました。12月には、クリスマス花火ファンタジアで「1,000人の子ども達とクリスマスソングを歌う会」も行います。他にも、まだ、確定していませんので詳細は言えませんが、まちづくりの事業や国際的な事業も計画中です。今年は、出来るだけ動きの見える活動を行っていきたくて考えています。

最後になりますが、会員拡大のお願いです。本年度は、15名の会員拡大を目標に掲げています。現在、6名の新入会員しか入会できていません。私自身も、この青年会議所運動を通じて様々な人と出会い、そして貴重な経験をさせて頂き、社会人として貴重な経験を積むことができたと感じています。是非、ご子息やお知り合いの方で意欲のある方がいましたらご紹介頂きたいと思っています。

御清聴ありがとうございました。